

将来的な所得連動返済型奨学金制度のイメージ

※今後、具体的な制度設計を行うこととする

学生への経済的支援の在り方に関する検討会
第2回(5/15) 参考資料2

- 学生の奨学金の返還負担懸念に対して配慮するとともに、将来世代の貸与原資を効果的に確保する観点から、所得の捕捉が可能となることを前提として制度を改正し、24年度に導入した親が低所得世帯の学生を対象とした「所得連動返済型無利子奨学金制度」を充実する。
- 卒業後の所得水準に応じて毎年の返還額を決める制度に移行(定額返還から毎年の課税所得に対する一定の割合を返還するなど本人の収入に応じた額を返還する制度へ移行。ただし、返還総額は変更しない。)(29年度以降導入予定)

【モデルケース】 貸与種別:無利子奨学金「私立大学・自宅通学」
貸与総額:5.4万円/月×12月×4年=259.2万円

